

不採用事件

24年の経験を活かそう!

第26回東海本部定期大会



北山雅人副委員長が委員長を代行して挨拶

国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部

東京都港区新橋5-15-15
交通ビル3階
発行責任者 渡辺良成
編集責任者 細木義孝

東海本部は8月6日、名古屋・労働会館で第26回定期大会を開催した。大会では、方針討議で19名が発言し、「鉄道業にふさわしい労働条件の獲得」、「仕事・職場総点検運動」や「職場三大要求運動」を強化・活性化し、組織拡大を通常の闘いとする、社保庁やJALの不当解雇撤回など、国民の生活と権利を守る取り組み、憲法改悪、自衛隊の海外派兵反対など平和と民主主義を守る活動、東日本大震災の早期復興と被災者の全面救済、原子力発電から自然エネルギーへの転換、12春闘勝利に向けて、職場・地域から闘いを積極的に取り組む、などの運動方針を決定した。

役員改選で新役員が選出され、第5回機関紙コンクールの表彰では、東部支部が最優秀賞を受賞した。

冒頭、東日本大震災の被災者及び24年の闘いが終結し、半ばで亡くなられた闘争団の方への黙祷を行なった。司会の高木宏執行委員は、渡邊委員長が大会を欠席のため、大会での執行部の分担を説明。司会の挨拶では、24年に及ぶ採用差別事件の闘いは家族や共闘の仲間の支え、意見の違いがあっても一枚岩で本部を支えてきたこと、組織の団結が継続の大きな要因と述べた。そして、今大会の意義は、この闘いの成果を次に活かし、原点に立って職場や地域で闘うこと、として積極的な討論を要請した。



鈴木正(静岡)議長

議長に静岡地本の鈴木正代議選出して大会は進行した。執行委員会を代表して北山副委員長が挨拶した。

来賓の交通連発済東海事業本部・今村謙一本部長は、「東日本大震災や静岡・東部地震で国労の加入者に給付をしています。今こそ助け合いの共済です。5力年計画が今年スタートし、皆様の事務手数料などを削らずに推進しています」と挨拶した。

次に、国労本部より田中博副委員長が採用問題の終結などを説明し、真子書記長が第80回全国大会で決定した方針を述べた。闘争団からの発言で、野田洋子さんは「闘争団解散後も地域の仲間と闘ってほしい。夫は非正規雇用、外国人労働者の問題に関わっていた。国労もそうした仲間との連携を持ってほしい」と述べた。

続いて上野書記長から経過報告と運動方針の提案があり、真

壁財政部長から10年度決算報告を受けた。

方針討議で19名発言

方針討議は19名の代議員が発言し、JR採用差別事件の闘いの財産を引き継ぐ今後の運動、東日本大震災の支援の取り組み、職場の災害対策の課題、春闘の諸行動、組織拡大に向けた職場・分会の取り組み、機関紙活動、専任社員の諸問題、安全の問題と地域共闘、花粉症や熱中症対策、JALや社保庁の解雇撤回の支援、出向社員の実態、年休が取れない運転職の実態、原発事故の問題、地域・利用者との連携と共闘などの報告や意見が出された。本部への質問には、本部・田中副委員長及び真子書記長が答弁した。代議員の発言を受け答弁と集約を上野書記長が行い方針が決定した。

役員改選で新執行部が選出され、東海本部委員21人も選出。スト権は代議員全員の賛成で確立した。特別決議と大会宣言を採択し、最後に小川青年部長の団結カンパニーで閉会した。

人災にも天災にも、いっさい負けない家族。

地震や台風などの自然災害も保障する火災共済、地震や風水害から建物や家財を守る地震風水害共済…。かけがえのない家族・家・家財などを保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

火災共済：東海火災共済株式会社
地震風水害共済：東海地震風水害共済株式会社
交通災害共済：東海交通災害共済株式会社
生命共済：東海生命共済株式会社
入院共済：東海入院共済株式会社

職場を基本に闘いを進めよう

北山雅人副委員長の挨拶(要旨)

東海本部大会で北山副委員長は要旨以下の挨拶をした。

東日本大震災について

多くの人が被災し、国労組合員2名も犠牲になった。悲しみを乗り越え、復興に向けて取り組みられていることに敬意を表する。震災で駅舎や線路も津波に流され、復興には「新線建設」



北山副委員長の挨拶

程という。また、首都圏で震災当日の帰宅難民、計画停電によるトラブ

脱原発、代替エネルギーへ

福島第一原発事故は、中曽根が進めてきた原発推進が招いた事態。脱原発、代替エネルギーへの転換を進めることが重要。

震災支援で国労の力を発揮

国労は震災発生直後に対策本部を設置し、被災地への支援活動を行った。各機関と組合員・家族の力で支援が行われ、被災地の組合員からは「国労において良かった」との声

新執行部を決定

- 執行委員長 渡邊 良成
- 副執行委員長 北山 雅人
- 書記長 上野 力
- 執行委員 高木 宏
- 山崎 明彦
- 川畑 昭二
- 木村 智之
- 鈴木 啓二
- 細木 義孝
- 一柳 弘一

退任された役員

- 総・財部長 真壁 茂重
- 調査部長 小山 謙二
- 組織部長 杉本 洋一

大会メッセージ

国労北海道本部、東日本本部、

東海本部委員を選出

11年度東海本部委員21名が以下の通り選出された。
新幹線地本(12名)

- 千葉愛一郎(東京駅)、吉沢 毅(東京第二運輸所)、山手次 敏(東京仕業検査車両所)、桐

が返ってきた。国労の力を発揮した。

職場改善・安全輸送・組織拡大を

09年の台風により不通の名松線の早期復旧など、安全で安心して利用できる公共交通をめぐした取り組みが必要。また、今回の大震災の影響による景気後退、輸送力が減る中、JR会社が主張する「低コスト化」とそれによる安全問題についても敏感に注視することが必要。職場を基本にし、仕事総点検などの運動を推進し、安全輸送と職場改善と組織の拡大をめざそう。

24年の教訓を今後の運動に

採用差別事件は、24年間不当な差別事件と対峙し、闘ってきた教訓を今後の国労運動に反映させていかなければならない。

最優秀賞は東部支部

第5回機関紙コンクール表彰

機関紙コンクールは、支部・分会から多数の応募があり、7月の東海本部執行委員会で選考し、大会で表彰。

最優秀賞 東部支部

教宣部長賞 大阪電気所分会

優秀賞 小田原保線所分会 浜松分会
東京車両所分会
松支部 東京車両所分会
会 美濃太田分会

努力賞 東京駅分会 富士分会
沼津運輸区分会 静岡分会
岡支部 名古屋分会

生勝(東京仕業検査車両所)、栗田浩(大井保線所)、池田卓司(品川電力所)、田中康夫

大会代議員の発言及び大会前日開催の国鉄労働会館「学習会」は次号に掲載

- (掛川信通所)、那賀英徳(大阪仕業検査車両所)、吉岡勝善(鳥飼電力所)、小泉司(大阪第二運輸所)、嵯峨山和幸(新大阪駅)、森山康弘(栗東保線所)
- 静岡地本(4名)
- 福田哲久(富士駅)、中村正(焼津駅)、田村隆浩(静岡総合鉄道部)、池谷諭(磐田駅)
- 名古屋地本(5名)
- 大金健一(稲沢機関区)、浜島由起夫(名古屋保線区)、土屋恵輔(CMC)、加藤修一(多治見保線区)、木下淳治(瑞浪駅)

入院、地震、火災、交通事故…一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかり組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

契約引当金: 新海東海生命共済株式会社